

まえがき

平成11年3月に告示された、高等学校学習指導要領は、今年度から学年進行で実施されておりますが、各学校においては、過去3年間の移行期間を踏まえ、特色ある教育課程の編成・実施や生きる力の育成を目指した様々な教育活動に取り組んでおられます。

平成15年度入学者の教育課程編成状況については、学校設定教科・科目が、158校において284科目が開設されており、学校外における学修の単位認定についても96校において技能審査の成果の認定が実施されるなど、創意工夫を生かした教育課程の編成や、教育課程の弾力的な運用がなされております。

また、新しい学習指導要領においては、確かな学力の向上が豊かな心の育成と並んで大きな柱となっており、個に応じた指導の在り方や指導と評価の一体化、シラバスの活用など、学習指導の改善・充実を図ることが、一層、重要となっております。

北海道教育委員会においては、「高等学校教育課程研究協議会」などを通して、今回の改訂の趣旨の徹底や内容の理解を図ってきたところでありますが、今後におきましても、本年度から開催される「高等学校教育課程改善協議会」などにおいて、学校の実践に基づいた研究協議を行うなど、さらに充実した教育課程の編成・実施が図られるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

本年度の手引作成に当たっては、基本方針を「創意工夫を生かした教育課程の編成・実施」と定め、具体的な資料となるよう配慮いたしました。

本冊子を作成するに当たり、お忙しい中、御協力いただいた方々に厚くお礼を申し上げますとともに、この手引が各学校において広く活用されることを期待しております。

平成15年10月

北海道教育庁生涯学習部高校教育課長

諏 江 康 夫